日液協第２９～５８号
平成３０年 ２月１３日

会 員 各 位

日本液化石油ガス協議会

建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について（お願い）

拝啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊協議会のためのご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

標記につきまして、経産省ガス安全室より別添のとおり、ガス事故における建設工事等に係る事故（他工事事故）の防止に向け、厚労省及び国交省の担当部署に対し協力要請を行った旨の通知、また、再発事故防止の観点から、当協議会に対し、会員への周知依頼がありました。

つきましては、会員各位におかれましては、営業所等に対し、下記の事項のご周知方よろしくお願いいたします。

また、平成２９年度第３回保安委員会（平成３０年１月２４日（水）開催）においても標記の事故防止対策について検討し、下記のとおり対策事例をまとめましたので、ご活用下さい。

敬具

記

・ 建設工事等事業者に対し、工事を施工する前には必ずガス管等について液化石油ガス販売事業者等に照会・確認するとともに、ガス管を見つけた場合は、必ず液化石油ガス販売事業者等に連絡すること等について、周知を行うこと。
・ 必要に応じて建設工事等の際に立ち会うこと。
・ 供給管・配管の工事を行う際は、事故防止のため、外注先の特定液化石油ガス設備工事に係る届出、液化石油ガス設備士資格の有無及び再講習の受講状況を確認することにより適切に監督すること。

【保安委員会・事故防止対策事例】

１．消費者への対応事例
①請求書に「リフォーム時等（水道工事、塗装工事、外壁工事等）の工事を行う際には、連絡を頂きたい」旨を記載
②他工事注意喚起ちらしの配布
③配送員、検針員からの他工事情報の収集
④消費者宅へ注意札の貼付等

２．他工事業者への対応事例
①建設業者、設備業者への周知
②建設業者、設備業者への講習会実施
③地域の建設業者や設備業者の団体への周知
④管理会社等への周知等

以　上

（発信手段：Ｅメール）
（担当：飯田、橋本、北邨）

別添

経済産業省

２９産ガ安第７号
平成３０年２月１日

日本液化石油ガス協議会
会長　川本　武彦　殿

経済産業省産業保安グループガス安全室長　田村　厚雄

建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について（協力依頼）

標記の件について、今般、当省では、ガス事故における建設工事等に係る事故（他工事事故）の防止に向け、別添のとおり厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課建設安全対策室長並びに同省医薬・生活衛生局水道課長及び国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課長並びに同省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課長に対し、協力要請を行いましたので、その旨お知らせいたします。

なお、再発事故防止の観点から、貴団体においても傘下の事業者等に対し、以下の事項の周知を行って頂きますようお願いいたします。

・建設工事等事業者に対し、工事を施工する前には必ずガス管等について液化石油ガス販売事業者等に照会・確認するとともに、ガス管を見つけた場合は、必ず液化石油ガス販売事業者等に連絡すること等について、周知を行うこと。
・必要に応じて建設工事等の際に立ち会うこと。
・供給管・配管の工事を行う際は、事故防止のため、外注先の特定液化石油ガス設備工事に係る届出、液化石油ガス設備士資格の有無及び再講習の受講状況を確認することにより適切に監督すること。

経済産業省

２９産ガ安第７号
平成３０年２月１日

厚生労働省労働基準局
安全衛生部安全課建設安全対策室長　縄田　英樹　殿

経済産業省産業保安グループガス安全室長　田村　厚雄

建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について（協力依頼）

ガス事業者（都市ガス及び液化石油ガスの供給に係る事業者をいう。以下同じ。）以外の者が行う建設工事等（道路関係工事、土木・建築関係工事、上下水道関係工事等）に伴い、毎年ガス管を損傷するなどの事故が発生しており、平成２４年から平成２８年の５年間で５６１件、負傷者数４１名に上っています。こうしたガス事業者以外の者によるガス事故が毎年約１割以上の割合で発生し、平成２９年は１１月末時点で、既に１２５件発生しております。

最近の事故事例では、平成２９年７月に、水道工事において、バックホウで誤って供給管を破損し、漏えいしたガスが付近で作業していた電動ブレーカーの火花に引火し、作業員２名が軽傷を負った事故や、同年１０月に、外構工事の際に灯外内管を破損させ、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制を実施した事故がありました。

こうした建設工事等におけるガス管損傷事故は、ガス事業者以外の者による建設工事等において生じる場合が少なくなく、その原因としては、①施工者がガス管の存在を知らずに工事に着手してしまった、②目的の配管と誤ってガス管を切断してしまった、③ガス漏えいの処置を自ら行おうとし、誤って着火させてしまった、④ガス臭に気付いたがそのまま作業を続け、その後漏えいガスに着火してしまった、また、⑤ガス事業者へ事前照会を行っていたものの、確認した内容を現場作業員に伝えていなかったなど、事故の内容から判断し、明らかに施工者による確認ミス、作業ミス等が原因となり発生しているものが多数あります。

つきましては、このような建設工事等におけるガス管損傷事故の再発防止の観点から、建設工事等に係る事業者等に対し、以下の要請を行っていただきますようお願いいたします。

・工事前には、ガス事業者に、ガス管の有無、その配置及び使用状況について照会するとともに、必要に応じ、工事の際にガス事業者に立会を求めること。
・ガス事業者に照会して得られた情報は、現場の作業者全員に周知して適切な作業が行われるようにすること。
・ガス管が埋設されている付近は、火気や電動工具の使用を避け、特に慎重に手掘り等で作業すること。
・敷地内に引き込まれる埋設ガス管は、歩道部や車道部よりも浅い場所にあることが多いため、特に注意すること。
・工事の際、ガス管及びガス管かどうか判断できない埋設管を見つけたときは、ガス事業者に連絡すること。
・ガス臭いと感じた時は、火気や電動工具の使用を中止し、すぐにガス事業者に連絡すること。

（添付資料）
・参考資料１　平成２８年の建設工事等におけるガス管損傷事故
・参考資料２　平成２９年の建設工事等におけるガス管損傷事故
・参考資料３　建設工事等事業者向けパンフレット
http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/citygas/aikotobademinaoshitai/panel/pdf/koji_2016.pdf
http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/citygas/aikotobademinaoshitai/panel/pdf/koji_check_2016.pdf

（参考）最近の建設工事等によるガス管・ガス設備損傷事故件数の推移ガス事故（建設工事等）

ガス事故（建設工事等）件数	平成２４年	平成２５年	平成２６年	平成２７年	平成２８年	計
ガス事故件数	７３１	９７７	８６１	７１０	６０４	3,８８３
うち、都市ガス	４７１	７６７	６７４	５３２	４６８	2,９１２
液化石油ガス	２６０	２１０	１８７	１７８	１３６	９７１
建設工事等事故件数	９３	９０	１０９	１３６	１３３	５６１
うち、都市ガス	７０	７２	９０	１２０	１００	４５２
液化石油ガス	２３	１８	１９	１６	３３	１０９
うち、事前照会無し	５２	５８	７０	８２	７２	３３４
建設工事等事故による負傷者数	１０	９	４	１３	５	４１

（経済産業省ガス安全室調べ）

経済産業省

２９産ガ安第７号
平成３０年２月１日

厚生労働省医薬・生活衛生局
水道課長　是澤　裕二　殿

経済産業省産業保安グループガス安全室長　田村　厚雄

建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について（協力依頼）

ガス事業者（都市ガス及び液化石油ガスの供給に係る事業者をいう。以下同じ。）以外の者が行う建設工事等（道路関係工事、土木・建築関係工事、上下水道関係工事等）に伴い、毎年ガス管を損傷するなどの事故が発生しており、平成２４年から平成２８年の５年間で５６１件、負傷者数４１名に上っています。こうしたガス事業者以外の者によるガス事故が毎年約１割以上の割合で発生し、平成２９年は１１月末時点で、既に１２５件発生しております。

最近の事故事例では、平成２９年７月に、水道工事において、バックホウで誤って供給管を破損し、漏えいしたガスが付近で作業していた電動ブレーカーの火花に引火し、作業員２名が軽傷を負った事故や、同年１０月に、外構工事の際に灯外内管を破損させ、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制を実施した事故がありました。

こうした建設工事等におけるガス管損傷事故は、ガス事業者以外の者による建設工事等において生じる場合が少なくなく、その原因としては、①施工者がガス管の存在を知らずに工事に着手してしまった、②目的の配管と誤ってガス管を切断してしまった、③ガス漏えいの処置を自ら行おうとし、誤って着火させてしまった、④ガス臭に気付いたがそのまま作業を続け、その後漏えいガスに着火してしまった、また、⑤ガス事業者へ事前照会を行っていたものの、確認した内容を現場作業員に伝えていなかったなど、事故の内容から判断し、明らかに施工者による確認ミス、作業ミス等が原因となり発生しているものが多数あります。

つきましては、このような建設工事等におけるガス管損傷事故の再発防止の観点から、建設工事等に係る事業者等に対し、以下の要請を行っていただきますようお願いいたします。

・工事前には、ガス事業者に、ガス管の有無、その配置及び使用状況について照会するとともに、必要に応じ、工事の際にガス事業者に立会を求めること。
・ガス事業者に照会して得られた情報は、現場の作業者全員に周知して適切な作業が行われるようにすること。
・ガス管が埋設されている付近は、火気や電動工具の使用を避け、特に慎重に手掘り等で作業すること。
・敷地内に引き込まれる埋設ガス管は、歩道部や車道部よりも浅い場所にあることが多いため、特に注意すること。
・工事の際、ガス管及びガス管かどうか判断できない埋設管を見つけたときは、ガス事業者に連絡すること。
・ガス臭いと感じた時は、火気や電動工具の使用を中止し、すぐにガス事業者に連絡すること。

（添付資料）
・参考資料１　平成２８年の建設工事等におけるガス管損傷事故
・参考資料２　平成２９年の建設工事等におけるガス管損傷事故
・参考資料３　建設工事等事業者向けパンフレット
http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/citygas/aikotobademinaoshitai/panel/pdf/koji_2016.pdf
http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/citygas/aikotobademinaoshitai/panel/pdf/koji_check_2016.pdf

（参考）最近の建設工事等によるガス管・ガス設備損傷事故件数の推移ガス事故（建設工事等）

ガス事故（建設工事等）件数	平成２４年	平成２５年	平成２６年	平成２７年	平成２８年	計
ガス事故件数	７３１	９７７	８６１	７１０	６０４	3,883
うち、都市ガス	４７１	７６７	６７４	５３２	４６８	2,912
液化石油ガス	２６０	２１０	１８７	１７８	１３６	９７１
建設工事等事故件数	９３	９０	１０９	１３６	１３３	５６１
うち、都市ガス	７０	７２	９０	１２０	１００	４５２
液化石油ガス	２３	１８	１９	１６	３３	１０９
うち、事前照会無し	５２	５８	７０	８２	７２	３３４
建設工事等事故による負傷者数	１０	９	４	１３	５	４１

（経済産業省ガス安全室調べ）

経済産業省

２９産ガ安第７号
平成３０年２月１日

国土交通省土地・建設産業局
建設市場整備課長　木村　実　殿

経済産業省産業保安グループガス安全室長　田村　厚雄

建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について（協力依頼）

ガス事業者（都市ガス及び液化石油ガスの供給に係る事業者をいう。以下同じ。）以外の者が行う建設工事等（道路関係工事、土木・建築関係工事、上下水道関係工事等）に伴い、毎年ガス管を損傷するなどの事故が発生しており、平成２４年から平成２８年の５年間で５６１件、負傷者数４１名に上っています。こうしたガス事業者以外の者によるガス事故が毎年約１割以上の割合で発生し、平成２９年は１１月末時点で、既に１２５件発生しております。

最近の事故事例では、平成２９年７月に、水道工事において、バックホウで誤って供給管を破損し、漏えいしたガスが付近で作業していた電動ブレーカーの火花に引火し、作業員２名が軽傷を負った事故や、同年１０月に、外構工事の際に灯外内管を破損させ、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制を実施した事故がありました。

こうした建設工事等におけるガス管損傷事故は、ガス事業者以外の者による建設工事等において生じる場合が少なくなく、その原因としては、①施工者がガス管の存在を知らずに工事に着手してしまった、②目的の配管と誤ってガス管を切断してしまった、③ガス漏えいの処置を自ら行おうとし、誤って着火させてしまった、④ガス臭に気付いたがそのまま作業を続け、その後漏えいガスに着火してしまった、また、⑤ガス事業者へ事前照会を行っていたものの、確認した内容を現場作業員に伝えていなかったなど、事故の内容から判断し、明らかに施工者による確認ミス、作業ミス等が原因となり発生しているものが多数あります。

つきましては、このような建設工事等におけるガス管損傷事故の再発防止の観点から、建設工事等に係る事業者等に対し、以下の要請を行っていただきますようお願いいたします。

・工事前には、ガス事業者に、ガス管の有無、その配置及び使用状況について照会するとともに、必要に応じ、工事の際にガス事業者に立会を求めること。
・ガス事業者に照会して得られた情報は、現場の作業者全員に周知して適切な作業が行われるようにすること。
・ガス管が埋設されている付近は、火気や電動工具の使用を避け、特に慎重に手掘り等で作業すること。
・敷地内に引き込まれる埋設ガス管は、歩道部や車道部よりも浅い場所にあることが多いため、特に注意すること。
・工事の際、ガス管及びガス管かどうか判断できない埋設管を見つけたときは、ガス事業者に連絡すること。
・ガス臭いと感じた時は、火気や電動工具の使用を中止し、すぐにガス事業者に連絡すること。

（添付資料）
・参考資料１　平成２８年の建設工事等におけるガス管損傷事故
・参考資料２　平成２９年の建設工事等におけるガス管損傷事故
・参考資料３　建設工事等事業者向けパンフレット
http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/citygas/aikotobademinaoshitai/panel/pdf/koji_2016.pdf
http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/citygas/aikotobademinaoshitai/panel/pdf/koji_check_2016.pdf

（参考）最近の建設工事等によるガス管・ガス設備損傷事故件数の推移ガス事故（建設工事等）

ガス事故（建設工事等）件数	平成２４年	平成２５年	平成２６年	平成２７年	平成２８年	計
ガス事故件数	７３１	９７７	８６１	７１０	６０４	3,８８３
うち、都市ガス	４７１	７６７	６７４	５３２	４６８	2,９１２
液化石油ガス	２６０	２１０	１８７	１７８	１３６	９７１
建設工事等事故件数	９３	９０	１０９	１３６	１３３	５６１
うち、都市ガス	７０	７２	９０	１２０	１００	４５２
液化石油ガス	２３	１８	１９	１６	３３	１０９
うち、事前照会無し	５２	５８	７０	８２	７２	３３４
建設工事等事故による負傷者数	１０	９	４	１３	５	４１

（経済産業省ガス安全室調べ）

経済産業省

２９産ガ安第７号
平成３０年２月１日

国土交通省水管理・国土保全局
下水道部下水道事業課長　加藤　裕之　殿

経済産業省産業保安グループガス安全室長　田村　厚雄

建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について（協力依頼）

ガス事業者（都市ガス及び液化石油ガスの供給に係る事業者をいう。以下同じ。）以外の者が行う建設工事等（道路関係工事、土木・建築関係工事、上下水道関係工事等）に伴い、毎年ガス管を損傷するなどの事故が発生しており、平成２４年から平成２８年の５年間で５６１件、負傷者数４１名に上っています。こうしたガス事業者以外の者によるガス事故が毎年約１割以上の割合で発生し、平成２９年は１１月末時点で、既に１２５件発生しております。

最近の事故事例では、平成２９年７月に、水道工事において、バックホウで誤って供給管を破損し、漏えいしたガスが付近で作業していた電動ブレーカーの火花に引火し、作業員２名が軽傷を負った事故や、同年１０月に、外構工事の際に灯外内管を破損させ、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制を実施した事故がありました。

こうした建設工事等におけるガス管損傷事故は、ガス事業者以外の者による建設工事等において生じる場合が少なくなく、その原因としては、①施工者がガス管の存在を知らずに工事に着手してしまった、②目的の配管と誤ってガス管を切断してしまった、③ガス漏えいの処置を自ら行おうとし、誤って着火させてしまった、④ガス臭に気付いたがそのまま作業を続け、その後漏えいガスに着火してしまった、また、⑤ガス事業者へ事前照会を行っていたものの、確認した内容を現場作業員に伝えていなかったなど、事故の内容から判断し、明らかに施工者による確認ミス、作業ミス等が原因となり発生しているものが多数あります。

つきましては、このような建設工事等におけるガス管損傷事故の再発防止の観点から、建設工事等に係る事業者等に対し、以下の要請を行っていただきますようお願いいたします。

・工事前には、ガス事業者に、ガス管の有無、その配置及び使用状況について照会するとともに、必要に応じ、工事の際にガス事業者に立会を求めること。
・ガス事業者に照会して得られた情報は、現場の作業者全員に周知して適切な作業が行われるようにすること。
・ガス管が埋設されている付近は、火気や電動工具の使用を避け、特に慎重に手掘り等で作業すること。
・敷地内に引き込まれる埋設ガス管は、歩道部や車道部よりも浅い場所にあることが多いため、特に注意すること。
・工事の際、ガス管及びガス管かどうか判断できない埋設管を見つけたときは、ガス事業者に連絡すること。
・ガス臭いと感じた時は、火気や電動工具の使用を中止し、すぐにガス事業者に連絡すること。

（添付資料）
・参考資料１　平成２８年の建設工事等におけるガス管損傷事故
・参考資料２　平成２９年の建設工事等におけるガス管損傷事故
・参考資料３　建設工事等事業者向けパンフレット
http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/citygas/aikotobademinaoshitai/panel/pdf/koji_2016.pdf
http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/citygas/aikotobademinaoshitai/panel/pdf/koji_check_2016.pdf

（参考）最近の建設工事等によるガス管・ガス設備損傷事故件数の推移ガス事故（建設工事等）

ガス事故（建設工事等）件数	平成２４年	平成２５年	平成２６年	平成２７年	平成２８年	計
ガス事故件数	７３１	９７７	８６１	７１０	６０４	3,883
うち、都市ガス	４７１	７６７	６７４	５３２	４６８	2,912
液化石油ガス	２６０	２１０	１８７	１７８	１３６	９７１
建設工事等事故件数	９３	９０	１０９	１３６	１３３	５６１
うち、都市ガス	７０	７２	９０	１２０	１００	４５２
液化石油ガス	２３	１８	１９	１６	３３	１０９
うち、事前照会無し	５２	５８	７０	８２	７２	３３４
建設工事等事故による負傷者数	１０	９	４	１３	６	４１

（経済産業省ガス安全室調べ）

参考資料1

平成28年の建設工事等におけるガス管損傷事故

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
1/16	福岡	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者からユンボで掘削中にガス管を損傷したとの連絡を受け出動したところ、ガス管(本支管:ポリエチレン管)が損傷しガスが噴出していた。当該箇所は、地下水により水没していて処置できない状態のため全戸(127戸)のガス供給を停止した。停止後、地下水を除去して損傷箇所をペトロラタムテープで応急処置し、ガス供給を再開した。その後、当該箇所のガス管がループ管であったため、ガスの供給を止めずに損傷部分の取替工事を行った。
1/16	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	工事業者よりガス管らしきものを損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。
1/18	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が灯外内管を破損。ガス漏えいのため、消防により周辺道路の交通規制を実施した。破損箇所上流側で切断、プラグ止め。なお、他工事業者から事前連絡があったが、事前着工したもの。
1/19	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
1/22	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	他工事業者からガス管を損傷したとの連絡を受け、訪問したところ、灯内内管から漏えいし、床下の根太及び電気ケーブルが焦げていた。工事業者によると、原因は他工事(改装工事)で、ガス管と思わず切断したところ漏れたガスに着火したため、消火したとのこと。
1/22	静岡	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体業者より「建物解体中にガス配管を損傷させガスが漏えいした」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、当該宅地内の埋設供給管よりガスが漏えいしていることを確認した。原因は、当該業者が解体作業中、当該供給管の存在を認識しなかったため誤って重機を接触させ損傷させたもの。 なお、販売事業者によると、当該業者には、工事前にガス配管図面を渡し説明を行っていたとのこと。
1/23	兵庫	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	他工事業者(舗装工事業者)がカッターで供給管を破損。ガス漏えいのため、消防により周辺道路の交通規制を実施した。
1/25	岐阜	解体工事	都市ガス	0	更地(建物解体工事が施された箇所)に埋設されている灯外内管よりガスが漏えいし、警察・消防にて周辺道路の交通規制を公共交通機関の運行支障を招いたもの。 当該箇所に何らかの車両等が入り、埋設(土被5cm)されている灯外内管の上にのったため、埋設接合部が折損したものと推測。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
1/31	京都	水道工事	LPガス	0	水道工事業者が道路掘削作業中、集団供給(20戸)の埋設供給管(ジュート巻き白管32A)に重機を接触させ、当該供給管よりガスが漏えいした。水道工事事業者はタオルとビニールテープを巻き付ける応急措置を施し、販売事業者に連絡をした。連絡を受けた販売事業者は現場に出動し、破損箇所から下流の供給先(3戸)に対して仮設容器による供給を行うため、個別仮設供給設備工事を実施した。また、水道工事事業者による水道管の補修工事完了後に、バイパス工事により設置した埋設供給管を本管に接続し、仮設供給設備の撤去を実施した。 原因は、当該水道工事業者が掘削作業を実施する際に埋設供給管の存在を把握していたが、作業員の不注意により損傷させたもの。
2/1	滋賀	改修工事	都市ガス	0	顧客がツルハシで灯外内管を破損。ガス漏えいのため、消防により周辺道路の交通規制を実施した。
2/1	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がニブラで灯外内管を破損。引き込み管遮断バルブ閉止したため供給支障(62戸)。
2/2	京都	解体工事	LPガス	0	集合供給の閉栓先(戸建)の宅地内において、解体事業者が、家屋の解体工事を行っていたところ、コンクリートの塀を倒しガス管(供給管)の立ち上がり部を下敷きにし、ガス管が折損しガスが漏えい、折損部から50cm程度の火が上がった。 原因は、解体事業者がコンクリート塀の解体中、誤ってガス管の立ち上がり部分を折損させ、ガスが漏えいしたが、漏えいに気付かず、電動切断機でコンクリート塀を分断したため、当該切断機の火花が漏えいしたガスに引火したもの。
2/3	山口	解体工事	LPガス	0	集合供給の団地において、下水工事業者が道路掘削中、パワーショベルで誤ってガス管(PE20A)を損傷させ、ガスが漏えいした。 原因は、下水工事業者が、岩盤を取り除く際に、ガス管(PE20A)が見えていたにも関わらず、手掘りをせずパワーショベルを使用し、操作ミスによりガス管を損傷させ、ガスが継続して漏えいした。 なお、販売事業者は、当該工事中に立ち会っていたものの、手掘りの指示は行っていなかったとのこと。
2/3	京都	建物改修・改装工事	都市ガス	0	他工事業者(内装工事業者)がカッターで灯内内管を破損し、ガスに着火・炎上(消防により消火。火災認定あり)。ガス漏えいのため、消防により周辺道路の交通規制を実施した。
2/5	京都	下水工事	都市ガス	0	他工事業者(下水工事業者)がカッターで供給管を破損し、ガス漏えいしたため、消防により周辺道路の交通規制及び付近住民(1名)の避難を実施した。破損箇所修理完了。他工事業者から事前照会があり、現地立会していたが、官民境界付近の部分的な浅埋ガス管(0.3m)を破損したもの。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
2/8	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。外面修理テープ巻き措置済み。
2/18	京都	解体工事	都市ガス	0	他工事工事業者(解体工事業者)がバックホウで灯外内管(継ぎ手部)の破損し、ガス漏えいのため、消防により周辺道路の交通規制を実施した。
2/20	群馬	解体工事	LPガス	0	戸建て住宅へ集団供給(全30戸)している地区において、解体工事業者が建物解体工事中に重機で埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。 原因は、当該工事業者が、誤って埋設配管に重機を接触させたため、損傷部よりガスが漏えいしたもの。 なお、埋設管表記の札が劣化しており、埋設配管の位置が不明瞭であった。
3/3	滋賀	水道工事	LPガス	0	空き地において、水道管工事業者よりガスを漏えいさせたとの連絡を受け、販売事業者が出動したところ、容器庫からの埋設供給管の引込み管(ポリエチレン管25A)よりガスが漏えいしていることを確認した。 原因は、水道管工事業者が、工事の掘削中において、重機を誤って当該引込み管を損傷させたため、ガスが漏えいしたもの。 なお、本工事の実施に際し、事前に水道管工事業者と販売事業者は、工事内容の協議及び埋設配管の試堀を実施していた。 又、当該水道管工事業者は以前(平成27年4月29日)にも、同様の事故を起こしており、販売事業者も今回の事故と同じ事業者であった。
3/5	東京	改装工事	LPガス	0	共同住宅において、土木工事業者より「コンクリート内に埋まっていたガス管(白管)に穴をあけてしまった」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、パイプシャフト内埋設配管が損傷しガスが漏えいしていることを確認した。 原因は、土木工事業者が当該住宅内のはつり工事中に、誤って機器などで埋設配管に穴をあけたため、損傷部よりガスが漏えいしたもの。
3/5	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。引込み管ガス遮断装置閉止により供給支障が発生。工事業者によると原因は他工事(改装工事)によると考えられる。
3/7	宮城	水道工事	LPガス	0	一般住宅において、消費者より「ガスの使用が出来ない」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、バルク供給設備の安全装置が作動しガスの供給が停止していることを確認した。 原因は、埋設管水道工事をしていた水道工事業者より供給管の撤去依頼を受けた都市ガス事業者が、誤って当該埋設供給管の縁切・撤去工事を行ったもの。
3/18	兵庫	建物改修・改装工事	都市ガス	0	他工事業者(改装工事業者)が灯外内管を破損し、ガス漏えいしたため、警察により周辺道路の交通規制を実施した。また、引き込み管遮断バルブ閉止したため供給支障が発生した。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
3/25	京都	電気工事	都市ガス	1	他工事業者(電気工事業者)が電子セーバソーで灯内内管を破損し、着火(火災)。他工事業者1名が軽度の火傷。
3/26	大阪	基礎工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がバックホウで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、消防により周辺道路の交通規制を実施した。
3/26	東京	水道工事	都市ガス	0	他工事業者(水道工事業者)がコア抜きをしたところ灯外内管を破損し、ガス漏えい。引き込み管ガス遮断装置を閉止したことにより53戸供給支障。
3/28	北海道	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が建物解体作業中に一時閉止していた灯外内管を損傷し、ガスが漏えいした。当該漏えい箇所のカップ止めを行い、周辺調査で異常がないことを確認した。その間、交通規制がされたもの。
3/31	神奈川	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
4/1	栃木	水道工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していたため、特定製造所において供給を停止した。工事業者によると原因は他工事(水道工事)によると考えられる。
4/6	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
4/6	栃木	下水工事	都市ガス	0	消防からガス臭いとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(下水工事)によると考えられる。
4/7	大阪	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	他工事業者(地盤改良工事業者)が掘削機で灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制及び周辺住民(44名)の避難が実施された。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
4/8	埼玉	建物改修・改装工事	都市ガス	0	消防署から工事業者がガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(改築工事)によると考えられる。
4/11	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管から漏えいしていた。原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
4/13	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)による不使用灯外内管引張りによる供給管損傷と考えられる。
4/18	岡山	下水工事	LPガス	0	共同住宅において、下水工事業者が、敷地内のコンクリート部を掘削中に、使用していたハツリ機により、埋設管(PE管25A)を損傷させガスが漏えいした。 原因は、当該工事業者が敷地内の埋設管を認識していなかったことにより、誤って損傷させたもの。 なお、当該建物管理会社から工事に係る連絡はなかった。 (バルク貯槽298kg×1基)
4/18	大阪	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	他工事業者(地盤改良工事業者)が地盤調査に伴うボーリングで不使用灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制及び周辺住民(13名)の避難が実施された。
4/19	長崎	下水工事	都市ガス	1	工事業者が住宅敷地(オール電化)内で下水工事中にコンクリートカッターでPE管(灯外内管のキャップ)を損傷し、ガスが噴出し、着火して工事作業員1名が右手の甲に火傷(軽傷)を負った。
5/2	兵庫	外構・門扉工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がハンマードリルで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
5/7	福島	解体工事	LPガス	0	集中監視センターより遮断の連絡あり、販売事業者が出動したところ、母屋解体中の大工が誤ってメーター上流側の供給管を損傷させ、ガスが漏えいしたことを確認した。
5/9	福岡	水道工事	LPガス	0	共同住宅において、消費者より「ガスが出ない」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、配管埋設部からガスが漏えいしていることを確認した。 原因は、当該配管付近にサンダーの使用及びコンクリート埋戻しの形跡が確認されたことから、水道工事業者が、工事を行った際、誤って当該配管を損傷させたものと推定される。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
5/11	静岡	水道工事	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者が水道メーター交換作業中に、ガスが漏えいした。 原因は、水道工事業者が当該埋設管を認識していなかったことにより、誤ってカッターで埋設供給管を損傷させたもの。 なお、販売事業者によると、水道工事業者から工事前の確認はなかったとのこと。
5/13	東京	基礎工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(建築工事)によると考えられ、供給支障が発生した。
5/21	京都	水道工事	都市ガス	0	他工事業者(水道工事業者)がカッターで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
5/25	京都	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	他工事業者(道路復旧業者)がカッターで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
5/26	東京	下水工事	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者より「埋設ガス管を傷つけてしまった」との連絡を受け、販売事業者がバルブの閉栓を依頼し、現場へ出動し、ガス管を修理した。 原因は、水道工事業者が下水工事中に誤って埋設供給管を損傷させたもの。
5/27	東京	その他改修工事	都市ガス	0	汚水桝工事会社から、敷地内で汚水桝の工事中にガス臭くなったとの通報受付。事業者到着時ガス臭気有。安全確保のため引き込み管ガス遮断装置を閉止。60戸の供給支障が発生した。
5/30	新潟	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体工事業者が、集団供給設備に隣接する家屋の解体作業中に、埋設供給管を損傷させ、ガスが漏えいした。 原因は、当該集団供給設備を停止し個別供給とする際、当該家屋の敷地内の埋設部で切り離したため、埋設供給管が残っていたが、解体工事業者は認識しておらず、誤って重機等で当該供給管を損傷させたため、損傷部よりガスが漏えいしたもの。
5/31	愛知	下水工事	都市ガス	0	敷地内の下水工事中、他工事業者が塗装の切断工事の際に、灯外内管を誤って切断。漏えいしたガスに着火し、小屋内の壁を損傷したもの。
6/1	山形	電柱設置工事	都市ガス	1	他工事業者(電気設備)が電柱設置工事中に供給管を損傷し、ガスが漏えいしたもの。加えて、復旧工事中、ガスに引火し、作業員1名が軽傷(火傷)を負ったもの。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
6/2	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が油圧クラッシャーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
6/6	京都	駐車場等工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)が掘削機で灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
6/6	兵庫	下水工事	都市ガス	0	他工事業者(下水工事業者)がコンクリートブレーカーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、供給支障が発生した(48戸)。
6/8	福岡	電柱設置工事	都市ガス	0	他工事業者によりガス管損傷の連絡を受けガス事業者が出動。 電柱工事によるガス支管(口径50mm)の損傷により、39戸が供給支障となった。
6/15	千葉	電柱設置工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(電柱工事)によると考えられる。
6/21	京都	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、住民より「ガスが使えない」との連絡を受け、販売事業者が出動したところ、ガス臭がありガスの漏えいを確認した。 原因は、解体工事業者が、当該住宅に隣接する家屋の解体工事の際、誤って重機を埋設配管(解体敷地内(小規模導管供給の閉栓先の区画)の立ち上がり管(被覆鋼管)の部分)に接触し損傷させたため、損傷部よりガスが漏えいしたもの。 なお、確認したのが夜間であったため埋設配管の損傷状況が確認出来なかったことから、供給先10戸を停止し、各戸に20kg容器を設置、仮設供給を開始し、仮設供給は、当該供給管の復旧作業を完了した時点で、すべて撤去した。
6/27	静岡	水道工事	都市ガス	0	1棟30戸の集合住宅で工事を受注した水道工事業者が委託したカッター業者がガス管(灯外内管)を損傷。連絡を受け駆けつけたガス事業者により当該集合住宅へ供給されるガス管の遮断バルブを閉止し、各戸のメーターガス栓も閉止。 カッター業者がガス管を把握していたかは調査中。
7/5	山口	下水工事	都市ガス	0	団地住宅内駐車場において、下水工事を行っていたところ、コンクリート土間にコンクリートカッターを入れ、続いてピック(駆動式はつり機)を作動させたところ、縦方向に切断された灯外内管から漏洩したガスに着火。消防からの指示により、特定ガス製造所元弁を保安閉栓。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
7/7	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が掘削機で灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺住民(2名)の避難が実施された(40分間)。プラグ止め完了。
7/19	埼玉	下水工事	LPガス	0	共同住宅において、下水工事業者が、敷地内の下水工事の際、埋設配管よりガスが漏えいした。 原因は、当該工事業者が、下水工事のためカッターでコンクリートを切断する際、埋設物の存在を確認せず、誤って3本の埋設配管をカッターで切断したもの。
7/19	大分	解体工事	都市ガス	1	他工事(解体工事)事業者が建物解体現場の敷地内駐車場の整備中にガス供給管(50A)を廃止管と誤認して折損し引き抜いた後、電動ピックにてコンクリートのはつり作業中に漏えいしたガスに着火し作業員が火傷した。(負傷者1名軽度の火傷、火災認定なし)
7/20	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が解体用つかみ機で灯外内管を破損し、漏えいしたガスに着火(負傷者なし)。周辺道路の交通規制が実施された。
7/21	神奈川	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(建築工事)によると考えられる。
7/21	兵庫	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が掘削機で支管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
7/29	東京	解体工事	都市ガス	0	八王子警察からガス臭いとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
7/25	鳥取	供給設備工事	LPガス	0	共同住宅において、販売事業者がガス供給変更作業の下見のために当該宅の供給設備を確認したところ、当該事業者の計画と異なり、供給設備工事業者が中間バルブを閉止し新たな配管を接続していたことから、当該工事の際に、ガスの供給停止することなく作業を行い、供給管継手部よりガスが漏えいし事故が発生したものと推定した。 なお、新たな販売事業者は、当該宅のオーナーには先行工事の了承を得ていたが、これまで供給していた販売事業者への連絡は行っておらず、当該工事の立会いも行っていなかった。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
8/2	福島	建設工事	LPガス	0	分譲造成地において、所有者より「埋設ガス管を破損させた」との連絡があり、販売事業者が調査したところ、埋設供給管よりガスが漏えいしていたことを確認した。 なお、販売事業者の到着時は、建設業者により応急処置が施されガスの漏えいは止まっていた。 原因は、当該建設工事業者が、外溝の整地工事中に埋設管末端の取出し継手部の存在を確認しなかったため、重機で誤って破損させガスが漏えいしたもの。
8/3	東京	水道工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(水道工事)によると考えられる。
8/6	大阪	解体工事	都市ガス	0	小学校敷地内において他工事業者(解体工事業者)がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、同校内の18名(児童11名・保護者7名)の避難が実施された。
8/9	大阪	整地・造成工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
8/9	京都	建築工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がアイオン(破砕重機)で灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
8/10	京都	下水工事	都市ガス	0	他工事業者(下水工事業者)がカッターで供給管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制及び周辺住民・店舗従業員及び顧客(約100名)の避難が実施された。
8/10	神奈川	外構・門扉工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、未使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(外構工事)によると考えられる。
8/15	神奈川	屋外付帯工事	LPガス	0	学校において、他工事業者が屋外付帯工事を行った際、メーター下流の埋設供給管からガスが漏えいした。 原因は、他工事業者が、誤って当該埋設管にユンボを接触させたため、ガスが漏えいしたもの。 なお、販売事業者によると、当該工事業者の責任者に対し、工事前に埋設管の存在を説明したが、現場の作業員には連絡が届いていなかった可能性があるとのこと。
8/16	静岡	外構工事	LPガス	0	一般住宅において、外溝工事業者より「ガス配管を損傷させてしまった」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、埋設供給管からガスが漏えいしていることを確認した。原因は、当該工事業者が、工事中に誤って埋設供給管を損傷させたためガスが漏えいしたもの。 なお、販売事業者によると、当該工事業者及び消費者から工事の連絡は無かったとのこと。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
8/17	埼玉	下水工事	都市ガス	0	工事業者(下水工事)がガス管を損傷し供給支障が発生した。なお、当工事には事業者が立ち会っていた。
8/21	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	消防からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯内内管が損傷していた。工事業者)によると原因は他工事(改修工事)によると考えられる。
8/24	福岡	増築工事	LPガス	0	病院において、建設工事業者が、増築工事のため掘削作業を行っていたところ、ガスが漏えいした。 原因は、当該建設工事業者が、埋設配管の存在を認識していなかったため、誤って重機で当該配管に接触し損傷させたため、損傷部よりガスが漏えいしたもの。
8/24	茨城	下水工事	LPガス	0	団地において、下水工事業者が掘削中、埋設供給管よりガスが漏えいした。 原因は、当該工事業者が、重機を誤って操作し、団地に供給する集団供給設備の供給管を損傷させたため、ガスが漏えいしたもの。 なお、販売事業者と当該工事業者との事前の打ち合わせでは、供給管の周囲は手掘りで掘削することとしていたが、重機により掘削が行われたもの。
8/24	佐賀	解体工事	都市ガス	0	建物解体作業中に、解体業者が灯外内管(不明管)を折損。解体作業員はガス臭に気づいていたが、解体作業(鉄骨のガス溶断)を続けたため、滞留したガスに引火し、火災により交通規制を実施した。
8/25	神奈川	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、消費者より「ガスが出ない」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、埋設供給管よりガスが漏えいしていることを確認した。 原因は、解体工事業者が整地した際、使用期間が40年程経過しており老朽化していた当該供給管に負荷がかかり、ガスが漏えいしたものと推定される。 なお、販売事業者によると、当該供給管は毎月の漏えい検査にてこれまでに漏えいは確認されていなかったとのこと。
8/25	大阪	外構・門扉工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がディスクグラインダーで灯外内管を破損し、ガスが漏えい着火したため、周辺道路の交通規制が実施された。
8/26	茨城	解体工事	LPガス	0	団地の宅地内において、解体工事業者がコンクリート打設された階段を解体していたところ、階段下の埋設供給管よりガスが漏えいした。 原因は、当該工事業者が、階段下の当該供給管の存在を認識しておらず、重機を接触させたため、当該供給管が損傷しガスが漏えいしたもの。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
8/27	千葉	その他改修工事	都市ガス	0	消防からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管から漏えいしていた。原因は他工事(需要家による改装工事)によると考えられる。
8/30	神奈川	造成工事	LPガス	0	一般住宅において、造成工事業者より「重機でガス管を引っ掛けた」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、破損の確認ができなかったが、埋設管の一部が曲がり、動くことから損傷の可能性があることを確認した。 なお、販売事業者によると、当該消費者に工事の際には事前に連絡するように周知していたが、隣地での造成工事であったため、事前連絡は無く、工事の立会いが出来なかったとのこと。
9/7	京都	電柱設置工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がカッターで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
9/12	神奈川	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、支管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(電柱工事)によると考えられる。
9/15	三重	解体工事	LPガス	0	空き店舗において、解体業者が供給管をサンダーで切断したため、ガスが漏えいし引火した。原因は、当該設備はメーターガス栓が閉められ、ガス止めが行われていたが、当該業者が誤って供給管をサンダーで切断したため、ガスが漏えいし、サンダーの火花が引火したもの。
9/16	大阪	樹木植樹・伐採工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。支管にて切断プラグ止め完了。
9/17	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制(1時間26分)及び周辺住民(4名)の避難が実施された。
9/23	奈良	電話工事	都市ガス	0	他工事業者(電話工事業者)がパールで供給管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
9/23	京都	水道工事	都市ガス	0	他工事業者(水道工事業者)がカッターで供給管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
9/28	東京	解体工事	都市ガス	0	建設会社から解体中ガス臭気有、着火したとの通報があり出動。現地到着時先方にて消火済み。ガス臭気が残っていたため、交通規制を実施。火災認定なし。
10/4	東京	改修工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、灯外内管から漏えいしていた。工事業者によると原因は他工事(改修工事)によると考えられる。
10/4	埼玉	解体工事	都市ガス	0	消防署からガス臭いとの通報があり出動したところ、建物解体現場で灯外内管が破損されていた。警察、消防により交通規制を実施。
10/5	埼玉	水道工事	LPガス	0	水道工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動。PE管をスクイズオフ、供給支障が発生した。
10/5	神奈川	水道工事	都市ガス	0	事業者点検士より、水道工事時供給管損傷との通報があり出動。消防にて交通規制を実施。
10/6	神奈川	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
10/6	神奈川	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動し、灯外内管が損傷していることを確認した。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
10/21	岡山	下水工事	LPガス	0	下水工事業者が団地内の市道を掘削中に、埋設供給管(ポリエチレン被覆管)を損傷させガスが漏えいした。 原因は、当該下水工事業者が現場の図面の細部まで確認していなかったため、誤って重機を当該供給管に接触させ、ガスが漏えいしたもの。 なお、販売事業者によると、当該工事業者からの事前連絡及び相談は無かったとのこと。 また、当該工事業者と販売事業者の図面に違いがあったとのこと。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
10/7	兵庫	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホウで灯外内管(鋼管)を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制(2時間26分)および避難(約30世帯)が実施された。
10/8	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者及び消防からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。
10/13	東京	漏水工事	都市ガス	0	工事業者から漏水工事中にガス管を切断し着火したとの通報があり出動。通報者にてメーターガス栓閉止済みを確認。水道漏水修理中誤って灯内内管を損傷し着火後すぐに消えたとのこと。
10/15	東京	解体工事	都市ガス	0	近隣住民からガス臭いとの通報があり出動したところ、灯外内管を損傷していた。原因は他工事(解体工事)によるもの。
10/17	東京	解体工事	都市ガス	0	マイコンメータ作動で訪問した協力企業から供給支障との通報があり出動したところ、支管への水流入により供給支障が発生していた。原因は不使用灯外内管折損箇所からの差し水であった。折損原因は他工事(解体工事)。
11/2	佐賀	下水工事	LPガス	0	共同住宅において、他工事業者(排水工事業者)より「埋設供給管からガスが漏えいした」との連絡を受けた販売事業者が、漏えいを止めるための応急処置を指示し出動したところ、埋設供給管が損傷していた。 原因は、当該工事業者が、重機により埋設供給管を誤って損傷させたため、ガスが漏えいしたもの。
10/18	埼玉	改装工事	都市ガス	1	需要家より、敷地内工事中にガス管を損傷しガス臭いとの連絡を受け、訪問したところ、設備工事作業員が、灯外内管を損傷し漏えい着火により負傷し、病院に搬送されていた。原因は他工事(改装工事)に際し、給湯配管ろう付け作業中バーナーにて灯外内管を損傷したもの。
10/22	福岡	解体工事	都市ガス	0	一般住宅の建物解体作業中に、解体業者が灯外内管(メーター立管)をサンダーにて損傷し、漏えいしたガスに着火。
10/24	京都	設備工事	都市ガス	0	他工事業者(設備工事業者)がコアドリルで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、供給支障が発生した。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
10/27	岐阜	改装工事	都市ガス	0	消防より「リフォーム業者が建物内改装工事中ガス管を損傷。」との通報を受け緊急出動。現地調査結果、エアーブレーカーによる灯外内管(40mm、白ガス管)の破損を確認。消防、警察にて通行規制(100m)、避難誘導(当該建物住民1 名)を実施。公共交通である路線バスの運行支障が発生。
10/28	神奈川	整地工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(整地工事)によると考えられる。
10/28	埼玉	水道工事	都市ガス	0	消防車の動きに走行中のガス事業者社員が気付き対象団地に到着したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(水道工事)によると考えられる。漏えい箇所をスクイズしようとしたが圧力が高く困難だったため、元バルブ閉止により供給支障となった。
10/29	兵庫	地質調査工事	都市ガス	0	他工事業者(地質調査会社)がボーリング孔で灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
11/5	京都	建物建築工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がカッターで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
11/8	東京	改修工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷しており、引込み管ガス遮断装置閉止により供給支障が発生していた。工事業者によると原因は他工事(改修工事)による。
11/12	愛知	舗装工事	都市ガス	0	下水工事後の舗装復旧工事(昼間)にて、水取立管を損傷。オペレータは立管損傷に気付かず舗装工事を終了したが、夜間に消防通報で発覚。現地水取はBOX整備済で、掘削機での舗装撤去中に、損傷させたものと推測される。
11/15	埼玉	下水工事	LPガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管(PEとPLPの接続部)が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(下水工事)。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
11/22	埼玉	外構工事	LPガス	0	一般住宅において、エクステリア業者が、屋外の勝手口付近に手すりを設置するため、土間に10cm程度の穴を開けたところ、敷設されていたビルトインこんろと接続している金属フレキ管よりガスが漏えいした。 原因は、当該作業の際、当該業者が金属フレキ管の存在を認知していなかったため、当該フレキ管を損傷させガスが漏えいしたもの。 なお、消費者も当該配管経路を認知しておらず、販売事業者への連絡はなかったため、販売事業者の立会はなかった。
11/26	広島	解体工事	都市ガス	0	家屋解体工事現場にて解体業者が灯外内管を破損し着火。解体中のコンクリート基礎部を一部焦がした。消防による交通遮断あり。
11/28	大阪	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がオーガで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制及び周辺住民(8名)の避難が実施された。
11/29	滋賀	外構工事	LPガス	0	一般住宅において、消防よりガス漏えい発生の連絡を受け、販売事業者が出動したところ、埋設供給管が破損していることを確認した。 原因は、外溝工事業者が容器庫からの埋設供給管の位置を確認せずにコンクリートはつり作業を行ったため、誤って当該供給管を損傷させ、ガスが漏えいしたもの。
12/2	兵庫	下水工事	都市ガス	0	他工事業者(下水道工事業者)がカッターで供給管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制及び周辺住民の避難が実施された。
12/6	沖縄	水道工事	LPガス	0	他工事業者が水道管を破損して多量の水が噴出。水の逃げ道として溝を作ろうとして近くのガス管まで破損させた。
12/7	兵庫	道路工事	都市ガス	0	他工事業者(道路工事業者)がカッターで灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制及び周辺住民の避難が実施された。
12/8	岡山	解体工事	LPガス	0	共同住宅において、当該建物の家主より「アパート解体中にガスが漏れた」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、供給管が損傷していることを確認した。原因は、当該建物のメーターが閉栓状態で空家だったことから、解体工事業者がガスは供給されていないものと認識し、当該建物を解体したため、重機で供給管を損傷させガスが漏えいしたもの。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
12/12	大阪	電気工事	都市ガス	0	他工事業者(電気工事業者)がコアドリルで灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
12/12	広島	道路側溝工事	LPG	0	工事業者が道路側溝工事を行っていたところ、コンクリートカッターと思われる工機で誤って供給管を破損させ、ガスが漏えい、着火したもの。緊急掘削工事に続き、供給管の遮断作業が終了し、消火した。
12/21	東京	下水工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(下水工事)によると考えられる。
12/21	大阪	建築工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)が電動ブレーカーで灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制及び周辺住民の避難が実施された。
12/24	神奈川	水道工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(水道工事)によると考えられる。
12/26	福島	建築工事	LPガス	0	一般住宅及び集合住宅の小規模団地近くの市道において、建設会社従業員が掘り起こしの作業を行ったところ、ガスが漏えいした。 原因は、当該従業員が、当該工事に際して、埋設供給管の存在を確認していなかったため、誤ってユンボで埋設供給管に接触したもの。
12/27	熊本	解体工事	都市ガス	0	建物解体業者による整地工事中に、掘削機が敷地内灯外内管に接触し、本管からの供給管取り出し部を損傷。漏えいしたガスがマンホールから下水道に流れ込みをしたことから付近の住民の避難誘導を消防に要請して、約30人の避難を実施。
12/27	埼玉	改修工事	LPガス	0	共同住宅において、リフォーム業者が居室内改装中に、工事で床を剥がした際、配管を損傷させ、ガスが漏えいし引火した。原因は、当該業者が床下の当該配管の存在に気付き、工事を行う上で支障となることから、ガスの供給が閉止していると思い込み、ベビーサンダーで切断したため、ガスが漏えいし、ベビーサンダーの火花が引火したもの。なお、販売事業者によると、1月から工事を行う予定であり、また配管を撤去すると思っていなかったため、当該業者への配管の存在の周知及び当日立会を行っていなかったとのこと。

参考資料2

平成29年の建設工事等におけるガス管損傷事故
（平成29年11月末現在）
※速報のため、内容が変わる可能性があります。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
1/6	長野	リフォーム工事	LPガス	0	リフォーム業者がコンクリート製2階共用廊下に水道管を通すため、穴を開けようとしたところ、埋設されていたLPガス供給管を損傷させ、ガスが漏えいした。
1/10	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者（解体工事業者）がバックホウで供給管継手部を破損し、ガスが漏えいした。
1/13	愛知	水道工事	都市ガス	0	他工事業者が、一般集合住宅建物内の消火栓管漏水修理をするために、コンクリートのコア抜き作業を実施していたところ、誤って灯外内管（PE管75mm）を損傷させた。
1/16	神奈川	水道工事	都市ガス	0	水道改修工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。同工事業者によると原因は他工事によると考えられる。
1/17	東京	解体工事	LPガス	0	解体工事業者が空家の解体作業中、誤って供給管を損傷させ、ガスが漏えいした。
1/18	東京	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事（地質調査工事）によると考えられる。
1/19	東京	解体工事	都市ガス	0	通行人よりガス臭いとの通報があり出動したところ、灯外内管から漏えいしていた。原因は他工事（解体工事）によると考えられる。
1/19	北海道	建物建築工事	都市ガス	0	他工事業者から杭打ち工事をしていたらガス臭がするとの通報があり、出動したところ、敷地内で150mm灯外内管（無装置管）からのガス漏れを確認。漏えい箇所を掘削し、確認したところオーガーにより灯外内管のプラグを損傷し、工事のために開けた孔が開口していることを確認した。
1/26	千葉	設備工事	LPガス	1	設備工事業者が廃止されたボンベ庫の配管を電動工具で切断したところ、配管にガスが入っていたため、切断の際に生じた火花に引火して、作業者1名が負傷した。
1/26	京都	解体工事	都市ガス	0	他工事業者（解体工事業者）がセーバーソーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいした。
1/27	鹿児島	水道工事	都市ガス	0	道路工事業者が、本管のバイパスサドルの突起部分を重機で損傷させたため、ガス漏えいが発生した。
1/28	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者（解体工事業者）がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいした。
1/30	千葉	外構工事	LPガス	0	外構工事業者が掘削作業中に誤って埋設配管を損傷させ、ガスが漏えいした。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
2/1	神奈川	道路舗装・改修工事	LPガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管端部のキャップが損傷していたため特定製造所内のバルブを閉止し供給支障となった。原因は他工事(水道工事)によると考えられる。
2/1	神奈川	下水工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。原因は他工事(下水道工事)によると考えられる。
2/3	福岡	解体工事	都市ガス	0	解体業者が建物解体中、サンダーにて灯外内管(白ガス管、口径25mm)を損傷し、漏出したガスに着火したことにより火災に至った。
2/9	東京	基礎工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。原因は他工事(建築工事)によると考えられる。
2/10	長野	下水工事	LPガス	0	下水工事業者が屋外トイレ新設のため、ロードカッターを用いて作業をしていたところ、誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
2/12	山形	不明	LPガス	0	他工事業者が集団供給の供給管を誤ってバーナーで切断し、ガスが漏えいしバーナーの炎が着火源となり火災となった。
2/13	山口	下水工事	LPガス	0	集合住宅において、下水道工事のため重機で掘削したところ、誤って埋設配管を損傷させ、ガスが漏えいした。
2/13	大阪	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がバックホーで支管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
2/14	宮城	解体工事	都市ガス	0	所有者よりガス漏れの通報を受け、灯外内管破損箇所からの漏洩を確認した。原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
2/18	大阪	解体工事	都市ガス	1	他工事業者(解体工事業者)が敷地内へ重機車両を搬入した際、埋設された灯外内管の上部を通過した時に、重機車両の加重によりガス管継手部を破損し、漏えいしたガスに、電動ハンマーの作業で発生した火花が着火したものと推定される。
2/20	福島	下水工事	LPガス	0	下水道工事業者が誤って市道に埋設された戸建集合住宅への供給管を損傷させ、ガスが漏えいした。
2/20	神奈川	基礎工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管が損傷していた。原因は他工事によると考えられる。
2/23	北海道	解体工事	都市ガス	0	通行人から警察に通報があり、警察から入電を受けた消防より「解体中の現場からガス臭及び噴出音有り」との入電を受け出動。消防による粘土詰めによるガス噴出停止措置を確認後、歩道を掘削し、供給管(PE)をスクイズオフ後、切断し、キャップ止めにより措置をした。
2/24	京都	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいした。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
3/2	大阪	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	他工事業者(下水道工事業者)がカッターで供給管(ポリエチレンライニング鋼管)を破損し、ガスが漏えいした。
3/6	東京	その他他工事	都市ガス	0	東京消防庁からガスが出ているとの通報があり出動したところ、灯内内管が損傷していた。原因は他工事(シロアリ駆除工事)によると考えられる。
3/6	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいした。
3/6	三重	水道工事	LPガス	0	水道事業者が漏水箇所特定の作業中誤って埋設配管を損傷し、ガスが漏えいした。
3/7	兵庫	解体工事	LPガス	0	解体工事業者が空き地で解体整地作業を行っていたところ、誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
3/7	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
3/8	埼玉	解体工事	都市ガス	0	団地解体に伴う団地内道路掘削時、ガス管をキズつけたとの通報受付。現地調査の結果、他工事により本支管を損傷されたことでマイコンメーターが作動し、近隣団地1棟37戸の供給支障が発生。
3/15	東京	解体工事	都市ガス	0	他工事業者よりビル解体中にガス管を損傷して着火したとの通報。ビル解体中建設機械にて灯外内管を損傷し着火したもの。
3/23	大阪	基礎工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がコアドリルで灯内内管(ポリエチレン管)を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺住民(18名)の避難が実施された。
3/24	奈良	リフォーム工事	LPガス	0	リフォーム業者が無断で自動切替式の供給が行われている設備の供給側容器を外したため消費者のガス使用により高圧ホースからガスが漏えいした。
3/27	福岡	解体工事	都市ガス	0	戸建ての建物解体工事において、建物解体業者が基礎コンクリート撤去作業中に基礎コンクリート中の灯外内管を損傷し、併せて同位置付近に埋設の給水管を損傷。水道水がガス管に流入して下流側のマンション(31戸)に供給支障が発生。
3/30	東京	解体工事	都市ガス	0	消防からガス臭いとの通報があり出動したところ、灯外内管から漏えい。原因は他工事(解体工事)によると考えられる。外面修理テープ止め措置済み。3月30日19時14分復旧済み(支管上元プラグ止め)。
4/4	愛知	駐車場等工事	都市ガス	1	駐車場の工事中に、内管他工事業者が灯外内管をサンダーで切断し、漏えいしたガスに着火し作業員1名が火傷をしたもの。この際に、ポストのダイヤル部及び雨どいの一部を焼損。
4/8	山形	解体工事	LPガス	0	解体業者が車庫解体のため、コンクリート舗装を破砕した際に、誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
4/8	新潟	電柱設置工事	LPガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(電柱工事)によると考えられる。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
4/10	奈良	下水工事	LPガス	1	下水道工事業者が作業中に誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいし、何らかの着火源により火災が発生し、作業員1名が負傷した。
4/10	東京	下水工事	都市ガス	0	下水道工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。同工事業者によると原因は他工事によると考えられるとのこと。
4/12	鳥取	水道工事	LPガス	0	水道局による水道管漏えい修理工事の為、土間コンクリートはつり工事中に埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
4/25	埼玉	解体工事	LPガス	0	解体工事業者が誤って埋設された供給管を損傷させ、ガスが漏えいした。
5/5	東京	その他（需要家）	都市ガス	0	消防署からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯内内管が損傷していた。原因は需要家が誤って枝きりばさみで損傷したもの。
5/8	静岡	外構工事	LPガス	0	外構工事業者が駐車場造成工事の際に、重機で地面を掘り起こしたことにより、埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
5/12	広島	水道工事	LPガス	0	水道工事業者が既設コンクリート解体の際に誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
5/15	鳥取	解体工事	LPガス	0	解体工事業者が基礎部分を切断中、誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
5/16	大阪	建物建築工事	都市ガス	0	他工事業者（建築工事業者）がオーガーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
5/17	東京	水道工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事（水道工事）によると考えられる。
5/18	山梨	下水工事	LPガス	0	下水道工事業者がコンクリートはつり工事中に埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
5/27	東京	下水工事	都市ガス	0	下水道工事業者からガス臭いとの通報がありガス事業者が出動したところ、本支管が損傷していた。同工事業者によると原因は、下水道工事によると考えられる。
5/29	大阪	建物建築工事	都市ガス	0	他工事業者（建築工事業者）がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
6/4	神奈川	その他（需要家）	都市ガス	0	消防からガス臭いとの通報があり出動したところ、灯内内管が損傷していた。需要家によると原因は（DIY）によると考えられる。
6/5	鳥取	外構工事	LPガス	0	外構工事業者が誤って重機で埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
6/9	沖縄	水道工事	LPガス	0	他工事業者(水道事業者)がサンダーで誤って灯外内管を破損し、ガスが漏えいした。
6/10	岡山	水道工事	LPガス	0	下水道工事業者が配管を損傷させ、ガスが漏えいした。
6/10	神奈川	外構・門扉工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(外構工事)によると考えられる。
6/12	静岡	水道工事	都市ガス	1	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷し、工事業者作業員1名が顔に軽度の火傷を負っていた。工事業者によると原因は他工事(水道工事)によると考えられる。
6/14	鳥取	リフォーム工事	LPガス	0	リフォーム業者が給水管とガス管を間違えてセーバーソーで切断し、ガスが漏えいした。
6/16	岡山	下水工事	LPガス	0	下水道工事業者が誤って重機で埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
6/19	岡山	下水工事	LPガス	0	下水道工事業者が誤ってコンクリートカッターで埋設配管を損傷させ、ガスが漏えいした。
6/22	兵庫	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	他工事業者(道路工事業者)がカッターで支管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
6/27	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	東京消防からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(改修工事)によると考えられる。
6/29	岐阜	水道工事	都市ガス	0	一般住宅の敷地内において、井戸配管の撤去工事中に、施工業者が間違えて配管を切断し着火。マイコンメーターが遮断して消火。給湯器用電気コンセント及び電気コードの一部を焼損。
7/1	東京	整地・造成工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(整地工事)によると考えられる。
7/1	大阪	その他改修工事	都市ガス	0	他工事業者(電気工事業者)がエアーチッパーで支管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
7/4	神奈川	解体工事	都市ガス	0	消防からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
7/7	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
7/8	千葉	その他(需要家)	都市ガス	0	消防からガス漏えいによる火災との通報があり出動したところ、灯外内管から漏えいしていた。原因はバーナーで除草作業中に不使用管(PE)からの漏えいガスに着火したものと考えられる。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
7/13	沖縄	建物改修・改装工事	LPガス	0	屋根の補修業者が溶接作業を行っていた際、火花が容器周辺に降りかかり高圧ホースが損傷してガスが漏えいし、溶接火花に引火した。
7/15	埼玉	解体工事	LPガス	0	解体業者が住宅解体中に誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
7/19	奈良	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
7/19	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(整地工事)によると考えられる。
7/19	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制及び周辺住民の避難が実施された。
7/20	大阪	外構工事	LPガス	0	外構工事業者が、ガス管が使用されていないと思いこみ、埋設管立ち上がり部をサンダーで切断したところ、ガスが漏えいし、サンダーの火花に着火した。
7/20	神奈川	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。同工事業者によると原因は他工事(水道工事)によると考えられる。
7/21	大阪	水道工事	都市ガス	2	他工事業者(水道工事業者)がバックホーで供給管を破損し、漏えいしたガスに、電動ブレーカーの作業で発生した火花が着火したものと推定される。作業員2名が軽度の火傷を負った。
7/21	京都	水道工事	都市ガス	0	他工事業者(水道工事業者)がバックホーで供給管継手部を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
7/24	神奈川	水道工事	LPガス	0	水道工事業者が誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
7/28	東京	水道工事	都市ガス	0	マンション管理人からガス臭いとの通報があり出動したところ、本支管から漏えいしていた。原因は他工事(水道工事)によると考えられる。
7/29	岡山	下水工事	LPガス	0	5月から6月にかけて行われた下水道工事により埋設管が損傷し、ガスが漏えいした。
8/1	滋賀	解体工事	LPガス	0	解体工事業者がバックホウにて家屋の解体作業中に灯外内管を折損、LPガスが漏洩した。
8/2	埼玉	水道工事	LPガス	0	水道工事業者が水道配管工事中に誤って埋設管を切断し、ガスが漏えいした。
8/2	群馬	集合住宅管理会社	LPガス	0	集合住宅の管理会社が草刈り機により露出配管を損傷させ、ガスが漏えいした。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
8/9	神奈川	外構・門扉工事	都市ガス	0	横浜消防からガス管損傷との通報があり出動したところ、灯外内管・灯内内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(外装工事)によると考えられる。
8/11	大阪	設備工事	都市ガス	0	他工事業者(衛生設備工事業者)がコアドリルで灯内内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
8/17	福岡	駐車場等工事	都市ガス	0	工事業者がマンション敷地内の駐車場整備工事に伴い、マンション1階店舗前のタイル部分を舗装カッターにより切断作業中に土中に埋設された灯外内管を損傷した。
8/19	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、不明灯外内管から漏えいしていた。原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
8/21	東京	その他(需要家)	都市ガス	0	東京消防庁から需要家がガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。原因は需要家が除草シートの固定ピンにて灯外内管を損傷したことによると考えられる。
8/23	埼玉	建設工事	LPガス	0	建設工事業者が誤って重機で埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
8/23	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで灯外内管(アスファルトジュート巻き鋼管)を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
8/24	福島	下水工事	LPガス	0	下水道工事業者が誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
8/25	茨城	下水工事	LPガス	0	下水道工事業者が誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
8/27	東京	水道工事	都市ガス	0	東京消防庁からガス管損傷・ガス噴出との通報があり出動したところ、灯内内管が損傷していた。原因は他工事(水道工事)によると考えられる。
8/30	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷し火が出たとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷し、壁及び屋根の一部が焼損していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
9/1	大阪	建物改修・改装工事	都市ガス	0	他工事業者(改築工事業者)がコンクリートカッターで灯内内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
9/11	埼玉	解体工事	LPガス	0	解体工事業者が宅地内解体工事の際、誤って露出配管を損傷させ、ガスが漏えいし、何らかの火に着火した。
9/11	大阪	水道工事	都市ガス	0	他工事業者(水道工事業者)がバックホーで支管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
9/14	神奈川	水道工事	LPガス	0	水道工事業者が誤ってフレキ配管を損傷させ、ガスが漏えいした。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
9/17	徳島	解体工事	都市ガス	0	建物解体作業中にガス管をガスバーナーで切断した際に、ガスが漏えい着火。
9/22	東京	土木工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事によると考えられる。
9/26	静岡	解体工事	LPガス	0	解体工事業者が誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
9/26	京都	電柱設置工事	都市ガス	0	他工事業者(電柱設置業者)がオーガーで支管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制及び周辺住民の避難が実施された。
10/5	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が圧砕機で灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
10/6	埼玉	外構・門扉工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(外構工事)によると考えられる。
10/10	千葉	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。同工事業者によると原因は他工事(水道工事)によると考えられる。
10/12	大阪	設備工事	都市ガス	0	他工事業者(衛生工事業者)がカッターで灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
10/25	兵庫	電柱設置工事	都市ガス	0	他工事業者(電柱設置業者)がオーガーで供給管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
10/26	北海道	電柱設置工事	都市ガス	0	他工事業者から建柱工事中にガス管を損傷したとの通報があり、出動したところ、低圧支管からのガス漏れを確認。近隣に保育所もあることから、付近住民の避難誘導を実施するとともに消防へ出動要請し、周辺道路の交通規制を実施。また、並行して当該低圧支管損傷部の応急措置によるガス漏えい停止後、消防にて避難及び交通規制解除を実施。
10/26	福岡	解体工事	LPガス	0	他工事業者(解体工事業者)が重機により、閉栓しているガスメータ部分を除去したことで灯外内管が損壊し、ガスが漏えいしたため、供給を停止。事故発生から約2時間後に開栓した。
10/31	大阪	外構・門扉工事	都市ガス	0	他工事業者(設備工事業者)がオーガーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
11/6	大阪	整地・造成工事	都市ガス	0	他工事業者(整地工事業者)が手で灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺住民の避難が実施された。
11/7	愛知	外構・門扉工事	都市ガス	0	外構工事中に内管他工事業者が電動ブレーカーにてコンクリートはつり作業中に灯外内管を誤って損傷。漏えいしたガスに着火し、ガスメーター及び外構の一部を焼損。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
11/8	東京	基礎工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事によると考えられる。
11/9	神奈川	設備工事	LPガス	1	設備工事業者がガス配管を分岐等させる工事を行う際、ガスを止めずに配管を切断したため、ガスが漏えいし、床下に滞留したガスに何らかの原因で火災が発生した。
11/9	東京	整地・造成工事	都市ガス	0	近隣住民からガス臭いとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
11/11	埼玉	基礎工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(建築工事)によると考えられる。
11/13	群馬	電気工事	LPガス	0	送電線工事業者が、誤って集合共有の埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
11/17	石川県	土木工事	LPガス	0	土木工事業者が宅地整地中、誤って重機で埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
11/17	東京	電気工事	都市ガス	0	団地管理事務所からガス臭いとの通報があり出動したところ、灯外内管から漏えいしていたため、引込み管ガス遮断装置を閉止し供給支障が発生した。原因は他工事(電気工事)によると考えられる。
11/18	東京	整地・造成工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷した疑いがあるとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(整地工事)によると考えられる。
11/29	埼玉	水道工事	LPガス	0	水道事業者が漏水箇所を探すため、ドリルで打ち込んでいたところ誤って配管を損傷させ、ガスが漏えいした。

ガス管損傷事故を防ぐための
3つのポイント

工事の前にガス管の位置をしっかり確認。
作業員全員で情報共有し、ガス管損傷事故を防ぎましょう。

Point 1

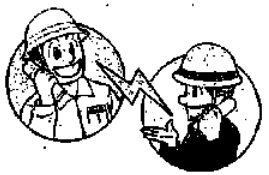
工事前にまず確認!

工事前にガス管位置やガスが通じていないことを確認。ガス管付近は特に慎重に手掘り等で作業する。

Point 2

不明な場合はガス事業者へ連絡!

ガス管の位置や深さが不明な場合やガス管の撤去・移設工事が必要な場合。その他、必要に応じてガス事業者にご相談ください。



Point 3

情報は全員で共有!

ガス管の位置などの情報は、図面などで作業員全員で情報を共有する。

ガスの事故がなくなるよう皆様のご理解とご協力をお願いします。

ガスの安全見直し隊

ガスの安全 検索
http://www.meti.go.jp/

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

お問い合わせは

H27④ 敷地内工事

参考資料3

敷地内の工事に携わるみなさまへ

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

敷地内で工事を行う際は、ガス管の確認を!

ガスの
あんしん
合い言葉

ちょっと待て!
そのすぐ下には
ガス管が!?

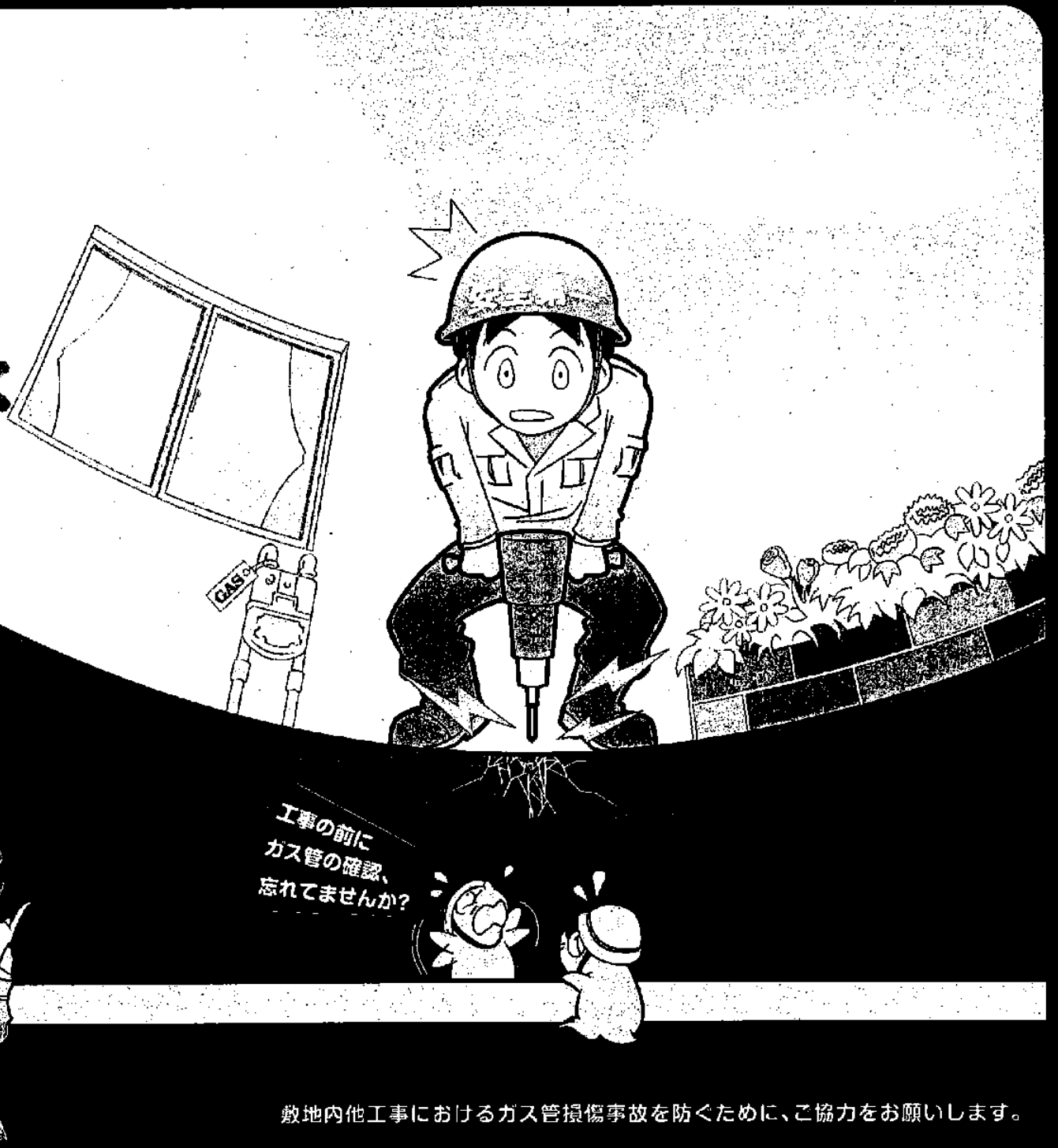
建物の改築・解体・給排水
工事などをはじめる前に
ガス管の位置確認を!

《工事の前に》
ガス管の位置やガスが通じていないことを
必ず確認してください。

《ガス管近傍で工事を行う場合》
あくまでも慎重に作業を進めてください。

《不明な点は》
ガス事業者にご相談ください。

《ガス臭いと感じた時》
火気や電動工具の使用を避け、
すぐにガス事業者に連絡してください。



敷地内他工事におけるガス管損傷事故を防ぐために、ご協力をお願いします。

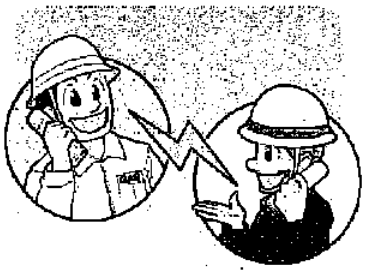
ガス管損傷事故防止のため、毎日！工事の安全チェック

毎日、工事の前にしっかりチェック！
作業員全員で情報共有して、ガス管破損事故を防ぎましょう。

〈チェック項目〉

工事前に必ず確認！

☑図面などで工事前にガス管の位置を確認。
☑ガス管のガスが、どこまで通じているか確認。
☑ガス管付近では手掘り作業をするなど、作業のポイントを確認。

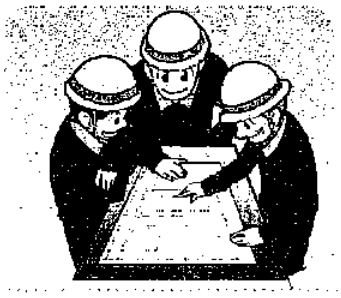


不明な点はガス事業者へ確認！

☑ガス管の位置や深さが不明な場合。
☑ガス管の撤去・移設工事が必要な場合。
☑ガス管にガスが通じているか不明な場合。
☑協議になかった管が出てきた場合。
※その他、必要に応じてガス事業者にご相談ください。

工事はあくまでも慎重に！

☑工事は、ガス管の位置や深さを再度確認してから。
☑ガス管の近くでは、重機を使用せず、手掘りにて慎重に作業を。



作業者全員で情報共有を！

☑ガス管の位置情報や、ガス管近くでの手掘り等作業のポイントを必ず作業者全員で情報共有をお願いします。

ガスの事故がなくなるよう、皆様のご理解とご協力をお願いします。

ガスの安全見直し隊　ガスの安全　検索
http://www.meti.go.jp/

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry